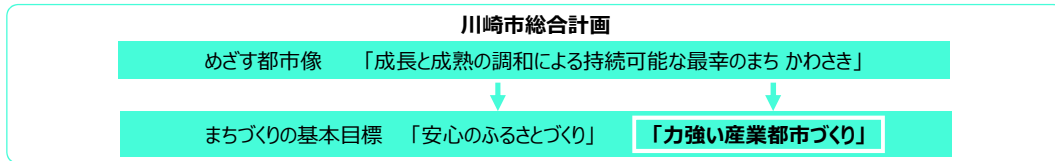


かわさき産業振興プラン 第3期実行プログラム 概要

第1章 第3期実行プログラムの策定にあたって(本編P1～)

- ①かわさき産業振興プランは、川崎市総合計画を上位計画とした、産業振興に関わる分野別計画であり、産業施策における他の分野別計画との整合・連携を図りつつ、「総合計画」に掲げるまちづくり基本目標のひとつである「力強い産業都市づくり」の実現に向けた産業振興の方向性を定めている。
- ②本プランは、計画期間を10年間(平成28(2016)年度～令和7(2025)年度)としており、「**中小企業活性化条例**」の実施計画としても位置付けている。
- ③「総合計画 第2期実施計画」及び「かわさき産業振興プラン 第2期実行プログラム」の計画期間終了に伴い、「総合計画 第3期実施計画」の策定に合わせ、**計画期間を4年間(令和4(2022)年度から令和7(2025)年度)として「かわさき産業振興プラン 第3期実行プログラム」を策定するもの。**

「川崎市総合計画」と「かわさき産業振興プラン」の関係

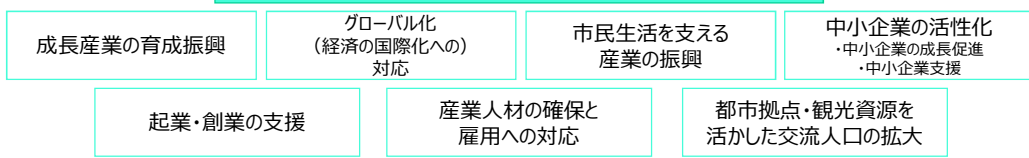


かわさき産業振興プラン

【理念】 多様な人材と産業が創り出す、活力と魅力にあふれるオープンイノベーション都市かわさき

- | | |
|-----|----------------------|
| 方針1 | 市内立地企業の国際競争力の強化 |
| 方針2 | イノベーションの促進 |
| 方針3 | 市民生活や雇用を支える産業の振興 |
| 方針4 | 多様な人材が活躍できる人材交流都市の構築 |

産業振興施策の重点項目



④かわさき産業振興プラン 第3期実行プログラム 構成

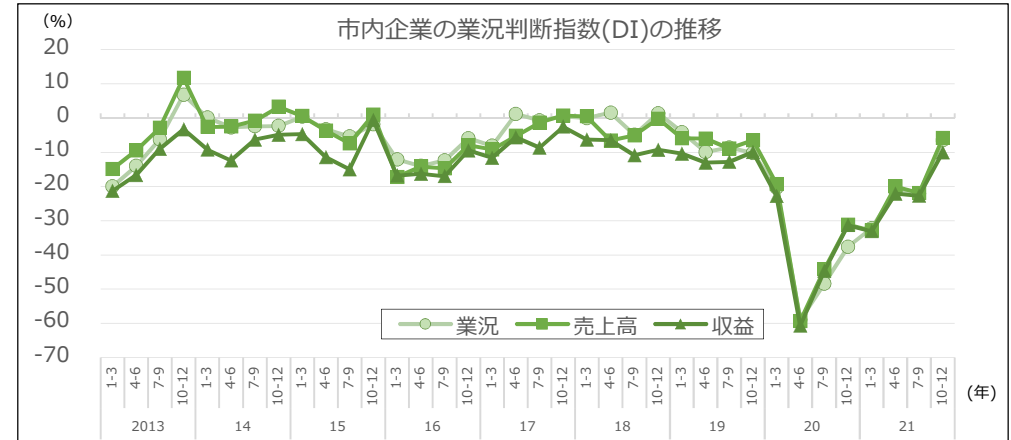
策定の趣旨・計画期間等	第1章 第3期実行プログラムの策定にあたって
市内産業の現状と動向・社会環境の変化	第2章 本市の産業を取り巻く現状
第2期における検証・総括、第3期実行プログラムにおける5つの視点の設定	第3章 第3期実行プログラムの基本的考え方
第2期実行プログラムの取組成果・5つの視点を踏まえた取組項目の設定	第4章 第3期実行プログラム
取組項目の進行管理の方法	第5章 第3期実行プログラムの進行管理の考え方

第2章 本市の産業を取り巻く現状(本編P3～)

(1)本市の経済・産業の状況

①本市の景気動向

業況、売上高及び収益の各DIは、平成25(2013)年の改善傾向から、平成26(2014)年に消費税率引き上げの影響等により低下に転じ、以後一時的な改善局面はあったものの、低下傾向が続き、平成28(2016)年後半以降、緩やかな改善の動きがみられたが、**令和2(2020)年には新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく下落し、その後は改善傾向であるものの、依然厳しい状態が続いている。**



(資料)川崎信用金庫「中小企業動向調査」

②事業所数・従業員数の推移

- ア 本市の平成28(2016)年の民営事業所数は40,934事業所、従業員数は543,812人
- イ 本市の**事業所数は、比較可能な平成21(2009)年以降、ほぼ横ばいの傾向で推移**
- ウ 本市の**従業員数は、平成26(2014)年と比べると減少しているものの、平成21(2009)年以降においては、総じて増加の傾向**
- エ **平成26(2014)年との比較では、1,682事業所(3.9%)、10,945人(2.0%)の減少**



(資料)総務省「事業所・企業統計」、総務省「平成28年度経済センサス-活動調査」

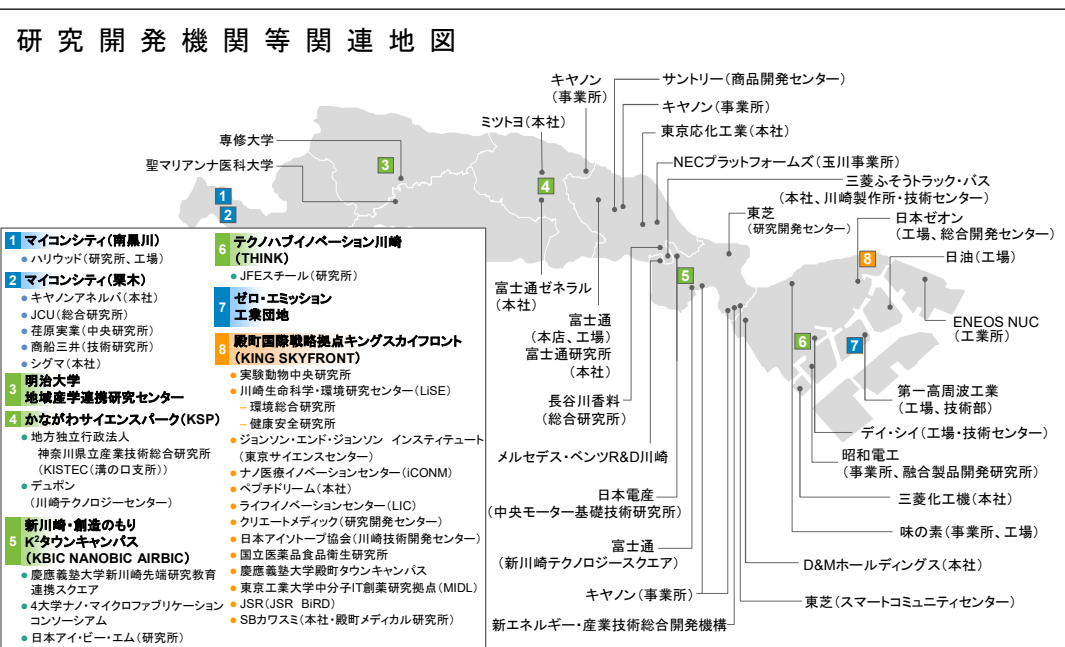
第2章 本市の産業を取り巻く現状(本編P3～)

③研究開発機関の立地(本編P33)

本市の特徴として、「かながわサイエンスパーク」、「新川崎・創造のもり」、「テクノハブイノベーション川崎」などのインキュベーション施設をはじめ、「殿町国際戦略拠点キングスカイフロント」といった研究開発機関集積地区を有するなど、市内に**550以上の研究開発機関が集積し、産業振興・イノベーションを推進する基盤が整っている。**

平成27年度に実施したアンケート調査時の調査企業(約400)を基に、本市が令和3年に実施した「研究開発に関する調査」において、殿町・新川崎地区等に新たに立地した事業者を対象に、立地状況を調査した結果、市内に550以上の研究開発機関の集積を確認

市内に立地する主な研究開発機関



(資料)川崎市

(2)社会経済環境の変化(本編P34～)

①新型コロナウイルス感染症の影響

②脱炭素社会の実現に向けた取組の進展

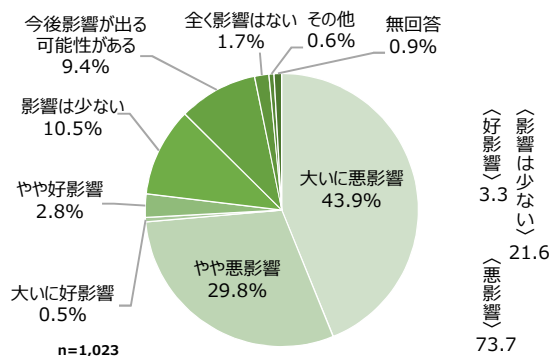
③大規模自然災害等の発生

④SDGsの取組の推進

⑤Society5.0時代の到来

⑥生産性向上の推進

【市内事業者の新型コロナウイルス感染症による影響】



(資料)川崎市「令和2年度市内事業所経営実態把握調査」

第3章 第3期実行プログラムの基本的な考え方(本編P44～)

(1)第3期実行プログラムの推進に向けた取組の考え方(本編P48)

①「川崎市総合計画」に掲げるまちづくりの基本目標である「力強い産業都市づくり」の実現に向けて、「かわさき産業振興プラン」に基づく産業振興施策を実施しており、「**かわさき産業振興プラン 第3期実行プログラム**」においては、「**かわさき産業振興プラン**」が定める**理念・4つの方針・産業振興施策の7つの重点項目**により、**計画期間の取組を推進する。**

②「かわさき産業振興プラン 第3期実行プログラム」においては、**継続した課題や社会経済環境の変化による新たな課題等を改めて整理し、それらを反映した「5つの視点」を設定するとともに、「5つの視点」を通して施策を見直すことにより、様々な変化に的確に対応するため、取組内容等の充実を図る。**

(2)第3期実行プログラムの5つの視点(本編P50)

【視点1】 価値創造と競争力の源泉となる イノベーションの創出と成長の促進

- ① **脱炭素に向けた取組**など、成長分野における新事業創出やイノベーションを推進
- ② イノベーションの担い手となりうる者の起業・創業の促進、**成長段階に応じた育成支援**を推進
- ③ 更なる企業間・研究機関等との連携の促進など、**オープンイノベーション**を創出し、成長に向けた取組を促進

【視点2】 デジタル化やICT活用等による高付加価値化・ 業務効率化の促進を通じた生産性の向上

- ① ウイズコロナ・ポストコロナにおける**デジタル化の推進**や**ICTツールの活用**による設備投資など、高付加価値化と業務効率化を促進
- ② 市内事業者における経営資源の最適化、**幅広い業種における生産性の向上**に向けた取組を推進

【視点3】 多様性を尊重して誰もが活躍する 魅力あるワークスタイルの実現

- ① 魅力あるワークスタイルの実現に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、誰もが活躍できるよう、**幅広い業種における多様な働き方等を促進**
- ② 女性、就職氷河期世代などを含め、今後の**市内産業の成長を支える多様な人材の確保や育成**を推進

【視点4】 地域の強みや特性を活かした 地域経済の安定と好循環の創出

- ① 市内事業者に向けた継続的な経営相談や国内での販路拡大、資金繰り等の取組などによる**経営資源の確保や経営の安定化**
- ② 地域の強みや特性、資源等を活かして、ウィズコロナ・ポストコロナに対応した商業・農業等イベント実施や情報発信、地域の魅力向上等、**地域が主体となった活性化の取組を推進**

【視点5】 変化に強くなやかな 企業づくりの推進

- ① 経営者の高齢化や自然災害・感染症等の**リスク**に対応した、**事業承継・事業継続に向けた取組**等により、全業種における事業継続力の強化を推進
- ② **事業再編や第二創業、安定的なサプライチェーンの構築**等による経営基盤の強化を推進

第4章 第3期実行プログラム(本編P53～)

(1)第3期実行プログラム

【7つの政策】 (産業振興プラン・重点項目)

政策1
起業・創業の支援
(本編P55)

政策2
成長産業の育成振興
(本編P63)

政策3
中小企業の活性化
(本編P79)

政策4
市民生活を支える
産業の振興
(本編P96)

政策5
産業人材の確保と
雇用への対応
(本編P116)

政策6
経済の国際化への対応
(本編P127)

政策7
都市拠点・観光資源を
活かした交流人口の拡大
(本編P134)

【5つの視点を通して施策を見直し、取組内容を充実】

【基本戦略】

○市内産業を活性化するベンチャー企業の創出・育成・定着
○様々な主体、手法による創業の促進

○成長産業分野でのイノベーションの創出
○成長産業の拠点における連携の促進とブランド力の向上
○臨海部の活性化

○中小企業の競争力の強化・生産性の向上
○中小企業の安定化・強靱化
○中小企業の成長促進

○魅力と活力のある商業地域の形成
○都市農業の活性化と都市農地の活用
○市民への安定的な食料品等の供給
○市民の安全安心な消費生活の確保

○産業構造の変化や多様な就業形態に応じた就業支援
○多様な人材の育成・確保・活用
○誰もが働きやすい環境づくりの推進

○市内企業の国際化支援
○環境関連ビジネスの海外展開の支援

○川崎の特性を活かした観光の振興
○川崎の特性を活かしたビジネス交流の促進

【主な取組の方向性(第3期のポイント)】

ア ライフサイエンス、ナノテクノロジー、環境・エネルギー分野等、先進的な技術を有する**研究開発型ベンチャー企業の起業・育成・集積の促進**
イ **ポストコロナを見据えた対応**など、市内に集積する最先端の企業・大学・研究機関のポテンシャルを活かした産学・産産連携等による**新たな製品・サービスの創出や付加価値化**

ア 環境技術を有する企業などの多様な主体の連携による**脱炭素等に向けたオープンイノベーションの推進やESG投融資の促進**
イ **「Kawasaki Welfare Technology Lab」(ウェルテック)を拠点とした高齢者・障害者や介護者のニーズを的確に反映した優れた福祉製品・サービスの創出支援**
ウ **量子コンピューティング技術等の先端的な研究開発機能の集積とエリアの一体的な支援・発信力の強化による拠点としてのブランド価値の向上**
エ 臨海部の持続的発展に向けた臨海部ビジョンに基づく**戦略的マネジメントの推進**

ア **デジタル技術等を活用した、業務の効率化等による生産性向上の推進**
イ 成長性の高い企業の立地促進や製造業の**産業集積強化等に向けた工業系土地利用の高度化**
ウ 経営者の高齢化や自然災害・感染症等の**リスクに対応した事業承継・事業継続への支援**

ア **商業者のデジタル化**など社会経済環境の変化を踏まえた**地域課題への対応による活力ある商業地域の形成**
イ 農地の利用意向を踏まえた**農地の集積・集約化に向けた貸借等の推進**

ア **新卒予定者、若年無業者、育児等で離職した女性、中高年齢者、就職氷河期世代など多様な人材**に対する就業形態等の様々なニーズに応じた**就業の支援**
イ **ICTやデジタル技術等を活用した、働きやすい環境改善支援及び働き方改革の推進**

ア オンラインによる海外現地企業との商談等、**ウイズコロナ・ポストコロナを見据えた海外展開支援の実施**
イ 「川崎国際環境技術展」等での**脱炭素やSDGs等の情報発信やビジネスマッチングの推進**

ア 本市の産業の強みを活かした**マイクロツーリズム**及びプロモーションの推進
イ **SNS等を活用した本市の多彩な観光資源の魅力発信**

第5章 第3期実行プログラムの進行管理の考え方(本編P143～)

- ①「かわさき産業振興プラン 第3期実行プログラム」では、「第2期実行プログラム」と同様に「川崎市総合計画 第3期実施計画」との整合を図り、新たな「成果指標」を追加・活用し、進行管理を実施する。
- ②「かわさき産業振興プラン 第3期実行プログラム」は、「中小企業活性化条例」に基づく中小企業活性化施策の実施計画としても位置づけており、中小企業活性化条例に規定する中小企業活性化施策に対応する各取組項目について、附属機関の「川崎市産業振興協議会」内に設置する「中小企業活性化専門部会」にて、毎年度の施策の実施状況の検証等を行い、施策の改善に向けた取組を行う。